

令和3年度「電子回路」シラバス

校長	教頭	教頭

科目名	電子回路			教科名	工業（情報通信系列）
学年	3年	単位数	3単位（105時間）		

1 科目「電子回路」について

学習の到達目標	(1) 身近な電子機器に電子回路が組み込まれていることを理解し、大まかな構成と働きを理解できる。 (2) 電子回路素子の基本的な機能と特徴および回路の動作原理を理解する。 (3) 増幅回路、発振回路、変調・復調回路、パルス回路、電源回路の基本的な動作と働きを理解する。 (4) 1陸特の過去問を理解し分かる。
使用教科書	電子回路（実教出版社）、第1級陸上特殊無線技士過去問

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
身近な電子機器についてその構成と各種電子回路の働きに関心を持ち、大まかな動作原理について理解し、それに関する知識・技術などについて関心や意欲・態度を持っている。	電子回路に関する1陸特の過去問について理解し正解を導き出す事ができる。	電子回路を実際にキットを用いて組み立て、誤結線が無いように完成することができる。	電子回路の理論と実技をバランス良く理解しており、電子回路エンジニアとしての基礎的な知識や技術を身につけている。
出席状況、提出物 平常の学習活動 学習態度、自己評価	ペーパーテスト 学習態度	集中力、 効率的な作業手順 協調性	ペーパーテスト レポート内容

3 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内容	判定基準	得点
A	十分に理解できていると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り

評価内容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの	100～81	5
十分満足できると判断されるもの	80～66	4
おおむね満足できると判断されるもの	65～51	3
努力を要すると判断されるもの	50～35	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	34～0	1